

吉川浄水場耐震対策について

1. 「これまでの主な経過」

(1) 【耐震診断】

平成 22 年度～平成 23 年度 「吉川浄水場他耐震診断および概略設計業務委託」

平成 24 年度～平成 25 年度 「馬渕浄水場他耐震診断および概略設計業務委託」

表 1 耐震診断結果

	耐震診断結果(レベル 2 地震)	応急復旧必要期間
吉川浄水場	液状化して構造物浮上等の甚大な被害。	約 4 か月
馬渕浄水場	構造物に局部的な被害。液状化なし。	約 1 か月
水口浄水場	同 上	約 1 か月
南津田導水ポンプ場	場内配管の損傷、ポンプ棟の損傷※	約 10 日間
朝国導水ポンプ場	沈砂池の軽微な被害	約 10 日間

◇受水市町への報告

平成 26 年 9 月 18 日、湖南水道用水供給事業連絡協議会において、耐震診断結果を説明

◇総務・企業常任委員会への報告

平成 26 年 10 月 6 日、企業庁の各浄水場の耐震診断結果と耐震対策の考え方を報告

(2) 【吉川浄水場耐震対策基本設計】

平成 26 年度～平成 28 年度 「吉川浄水場耐震対策基本設計業務委託」

【吉川浄水場耐震対策基本設計懇話会】

* 基本設計業務の検討内容に対する意見を求めるために設置

第 1 回 (H27.8.3) ～第 5 回 (H28.7.12) の実施

委員(有識者 3 名)、オブザーバー(受水市町)

第 1 回：耐震診断結果の評価、耐震対策方法の選定(1 回目)

第 2 回：耐震対策方法の検討(2 回目)、耐震規模の検討、浄水処理方式の検討(1 回目)

第 3 回：液状化対策の検討

第 4 回：浄水処理方式の検討(2 回目)

第 5 回：浄水処理方式の検討(3 回目)

◇受水市町への報告

平成 28 年 9 月 1 日、湖南水道用水供給事業連絡協議会において、対策規模 3 万 m³/日、耐震対策費 87 億円(税抜)とし、耐震対策実施について全受水市町の了承

◇総務・政策・企業常任委員会への報告

平成 28 年 11 月 25 日 耐震診断結果と吉川浄水場耐震対策について報告

2. 「耐震対策施設の概要」

表2 吉川浄水場耐震対策施設諸元

	概 要	備 考
新設規模	給水量 3 万 m ³ /日施設	既設約 4 万 m ³ /日施設（1 系列）と併用運転
配置	吉川浄水場内将来施設用地	（別添平面図参照）
浄水処理方式	凝集沈殿＋急速ろ過方式	
液状化対策	地盤改良	
概算費用	約 94 億円（8%税込）	87 億円（税抜）

3. 「耐震対策事業実施スケジュール」

	予 定 年 度
詳細設計	平成 29 年度～平成 30 年度
工 事	平成 31 年度～平成 33(34)年度

注) 工事期間は詳細設計において工事工程を検討し設定する

